

平成30年6月1日

会員各位

協会だよりー306(6月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第236回(一泊研修会)の開催
日時：平成30年7月13日(金)～7月14日(土)
見学先：パンパシフィック・カッパー(株)佐賀関製錬所
宿泊先：ホテル三泉閣(大分県別府市北浜)



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 〔予定事項〕
- 三. 会員の近況
- 四. 平成30年度役員紹介
- 五. 事務局より(六月度の予定)
【雑字】修復なった日向薬師・白髭
神社・道灌塚を訪ねる(小林)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① **協会だよりー305 (5月号)** をメール&郵便で送信 (5/01)
- ② 第一回役員会
日時：30年5月9日(水) 14:30～15:30
場所：JXグループ・六本木クラブ
議第：第43期(平成30年度)定期総会の件
出席者：現・新役員会メンバー
- ③ 第43期(平成30年度)定期総会の開催
日時：平成30年5月9日(水)16時～
総会：16時～17時
懇親会：17時30分～19時30分

場所：JX グループ・六本木クラブ

④ 第一回運営委員会の開催

日時：平成30年5月17日（木）16：00－17：00

場所：堺化学工業㈱東京支店会議室

議題：第236回月例会（一泊研修会）担当決め

⑤ 堺化学工業㈱「創業百周年感謝のつどい」

日時：平成30年5月31日 15：00－18：00

場所：ホテルニューオータニ大阪

出席：専務理事

【予定事項】

① CMAJ・JCRA との幹部交流会の開催

日時：平成30年6月19日（火）18：00～

場所：JXグループ六本木クラブ

② 第236回（一泊研修会）の開催（7月の行事です）

日時：平成30年7月13日（金）～7月14日（土）

見学先：パンパシフィック・カッパー㈱佐賀関製錬所

宿泊先：ホテル三泉閣（大分県別府市北浜）

2. 会員の近況

【担当者の交代】（敬称略）

- 石福金属興業㈱ （吉岡実→加藤秀雄）
- (株)光正 （齊藤隆明→桑原大起）
- 新興化学工業㈱ （岩崎信男→清水誠司）
- ソーラメタル㈱ （村上美佐子→村上洋子）

【本社事務所移転】

- アイアールユニバース株式会社

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-3-7 浅田共同ビル4階

【ビル名の変更】

- 堺化学工業㈱東京支店

旧ビル名：友泉岩本町ビル⇒新ビル名：ザイマックス岩本町ビル（6月1日より）

3. 平成30年度役員紹介（敬称略）

本年30年度5月9日開催の総会において下記の役員が就任致しました。今後2年間継続して役員を遂行することになります。

役職	氏名	会社名	役職	備考
会 長	安田 豊	J X 金属㈱	執行役員環境リサイクル事業本部長	新任
副会長	林 光蔵	田中貴金属工業㈱	化学回収カンパニー リサイクル化成成品営業部長	継続
副会長	永井俊一	ミヤマ㈱	営業本部本部長	新任
会 計	牧 恵子	太陽鋳業㈱	東京支店総務課	継続
理 事 (運営委員長)	渡辺敏樹	堺化学工業㈱	触媒事業部営業部長	新任
理 事 (調査・技術委員長)	野口綱夫	エヌ・イーケムキャット㈱	化学触媒営業部主査	新任
理 事 (広報委員長)	尾沼 涼	ジョンソン・マッセイ・ジャパン	貴金属事業部加工品製品部 ビジネス取締役	継続
監 事	西野正人	中外鋳業㈱	貴金属営業本部副部長	継続
監 事	蓑輪裕樹	小島化学薬品㈱	営業本部営業部長	継続

4. 事務局より（6月度の予定） 6月出勤予定：10日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	1	2
×	×	○	×	○	×	×
3	4	5	6	7	8	9
×	×	○	×	○	×	×
10	11	12	13	14	15	16
×	×	○	×	○	×	×
17	18	19	20	21	22	23
×	×	幹部交流会	×	○	×	×
24	25	26	27	28	29	30
×	×	○	×	○	×	×

（文責：専務理事）

5.【雑学】修復なった日向薬師・白髭神社・道灌塚を訪ねる（小林）

5月12日（土）は好天に恵まれ、小田急線伊勢原駅改札口前にはハイキングのグループで一杯だ。北口のバス停に向かうと、やはり大山ケーブルへ行く人が圧倒的で我々、日向薬師へ向かうのは少数派のようだ。日向薬師行きの3番バス停は、産業能率大学行きのバスも出ているので学生で溢れている。我々グループ29名はバスに乗り25分ほどで終点日向薬師前に到着する。日向薬師は山の中腹に有り、自然石の不規則な石段が300段



いしば（衣裳場）の説明板

ほど続くので高齢者にはきつい道のりである（遠回りではあるが薬師まで車で行ける道が別にある）。登り口に着くと、頼朝公が娘の病気全快（木曾義仲へ嫁にやる予定のところ、頼朝と義仲が敵対したため、婚姻取りやめとなり病に倒れたという）を祈る為、旅装を脱ぎ白装束に衣装を着替えたという、いしば（衣裳場）の謂れが表示されている。さて、ストックを取り出し石段征服へと向かう。

【日向薬師（宝城坊）】 神奈川県伊勢原市日向

日本三大薬師（柴折薬師（高知県大豊町）・米山薬師（新潟県上越市）とともに「日本三薬師」に数えられる）の一つ日向薬師は、霊亀2年（716）行基が開創したと伝えられる日向山霊山寺の二坊の一つが宝城坊である。明治維新後、他の二坊は廃絶され宝城坊だけが残された。平成28年に本格的な修復が行われた。休憩コーナーで昼食後、宝物殿の見学となる。本尊の左右に四天王像が二体ずつ並び、木造十二神将立像が睨みを利かせている。拝観料は300円（30名以上の団体は200円）である。



【白髭神社（日向神社）】 神奈川県伊勢原市日向 1670



白髭神社の鳥居と本殿

天智天皇7年（668）唐に滅ぼされた高句麗の王若光（じゃっこう）は一団を率いて海路大磯に上陸し、この日向に落ち着いたといわれる。霊亀2年（716）、日向薬師の開創に当たり、若光が行基に霊木を与えたことから日向の鎮守として若光を祀り、一祠が営まれたのが始まりといわれている。日向より若光は高麗の一軍を引きつれ武蔵国（現；埼玉県日高市）に移住したといわれている。埼玉県高麗郡の地名が移転の名残りであろうか？

【太田道灌墓】神奈川県伊勢原市上糟屋



幡龍山洞昌院の境内、裏手の墓地にあり、胴塚と呼ばれている。首塚は下糟屋の大慈寺にある。道灌は扇谷上杉家の家宰（家老職）で、江戸・川越城の築城で知られている。

文明18年（1486）山内上杉顕定（あきさだ）の讒訴により、主君扇谷上杉定正に糟屋の館（現・産業能率大学のキャンパスの一部になっているらしい）で暗殺された。最期にあたって「当方滅亡」と叫んだといわれている。自分事ではなく「扇谷上杉家の滅亡」を叫んだのであろう。

「七重八重花は咲けども山吹の実のひとつだになきぞ悲しき」



洞昌院の先、街道の左、300m程奥に七人塚（道灌の家臣の塚）、上糟屋神社があり、参拝に向かう。

【七人塚】神奈川県伊勢原市上糟屋

太田道灌も、主君の館・訪問とは言え、丸腰で来たわけではなく腕の立つ家臣を連れてきたのであろう。道灌のために勇敢に戦った七人の勇士の墓で有ったのであろうか。

石碑脇の説明板には、「主君上杉定正に「道灌 謀反心あり」と疑われ、定正の糟屋館に招かれ、刺客によって暗殺された。そのとき、上杉方の攻撃を一手に引き受けて討ち死にした道灌の家臣7名の墓で「七人塚」と伝えられている。この塚は、上糟屋神社の境内の杉林の中に七つ並んでいたが、明治の末に開墾するとき一つ残された伴頭（ともがしら）のものといわれ、今でも七人塚と呼ばれている。」と記されている。

【上糟屋神社】 神奈川県伊勢原市上糟屋



神社の説明板によると、上糟屋神社の由緒は、大同弘仁の頃（806～823 の平安時代）近江の国の日吉神社を当所に移し勧請したと伝えられている。また風土記によれば天平年中（729～749 の奈良時代）に僧良弁の勧請なりという。・・・（途中省略）明治6年、熊野神社（字・和田内鎮座）と白山社（字・石倉上鎮座）を合祀し、上糟屋神社と改称した。と記されている。この境内の森の中に、道灌の勇敢な家臣七人の塚があったと伝えられている。

【僧良弁】の紹介

奈良時代の僧。朗弁とも記す。近江(おうみ)（または相模(さがみ)）の人。幼時、大ワシにさらわれ、大和(やまと)の春日大社の前の杉（俗称良弁杉）に捨てられ、義淵(ぎえん)に救われたと伝える…（百科事典マイペディアより）。良弁さんは、雨降山大山寺（相模国）の開山開祖としても知られているので、ここ上粕屋に日吉神社を勧請したのも、同時代で有り整合性が取れると思う。

午後3時半、上糟屋神社より、道灌塚バス停へ向かう。皆さん今日一日ハイキングご苦労さんというように、大山が綺麗に姿を現している。



伊勢原市上粕屋より大山を望む。

【番外編】太田道灌の銅像（都内）2点紹介。



【左】はＪＲ日暮里駅前ロータリーにある道灌銅像
【右】は東京国際フォーラム・ガラス館内にある道灌銅像